

 **AUTOBACS**

GPR

KARTING SERIES

2024

RACE REPORT



2024年 全日本カート選手権 OK部門 第1戦・第2戦

2024年 ジュニアカート選手権 ジュニア部門 第1戦・第2戦

2024年 ジュニアカート選手権 ジュニアカデット部門 第1戦・第2戦

2024年 Rok CUP JAPAN GPR RokSHIFTER 第1戦・第2戦



OK Class

『第1戦:皆木駿輔がポールtoウィン!』

2組に別れたQP。先に出走したA組では、事前テストから好調が伝えられた皆木駿輔(DragoCorse)がトップタイムをマーク。2番手には、これまでの実績によりライセンス要件(年齢・グレード等)を飛び越えて特例での出場が許されたスーパルーキー、酒井龍太郎(ミツサダPWG RACING)が0.08秒差で続く。B組では、こちらもルーキーながらヤマハワークス入りを果たした春日龍之介(YAMAHA MOTOR Formula Blue)がトップタイム。2番手に今回はシフタークラスとのダブルエントリーとなる鈴木勇太(brioly racing)が続く。各組上位4名、合計8名が進んだスーパーポールは、昨年までの計時予選方式から、カートならではの1台2周計測のタイムトライアル方式に変更。ほとんどの選手にとって、選手権レースでのTT方式は初の経験となる。

QPの下位選手から3台ずつコースインしアタックしていくが、ここでも最後の最後に登場した皆木が千分の7秒上回りトップタイムをマークすると、第1戦決勝のPPを獲得した。2位には地元の野澤勇翔(bbr.チームエッフェガーラ)がジャンプアップでつけ、フロントローを獲得した。第1戦決勝、好スタートを見せたのはPPの皆木。2番手に三村壮太郎(AP SPEED with SOVLA)、3番手に五十嵐文太郎(DragoCorse)、4番手に酒井と続く。序盤から積極的に仕掛けたのが酒井。4周目に五十嵐、7周目に三村をかわし2番手に上がると、トップの皆木に接近していく。しかし、皆木のペースもよく、中盤以降両者の間隔は膠着状態となり、周回が消化されていく。

それでもチャンスを待って皆木を追走する酒井。皆木もベテランらしい落ち着いた走りで見せない。最後までペースを崩さなかった皆木が、トップを譲ることなく逃げ切り、開幕戦を制した。2位に酒井、3位は三村が踏ん張り表彰台を獲得した。

優勝ドライバー:皆木 駿輔(No.43 DragoCORSE)

「自分のペースがいいのはわかっていたのですが、酒井選手のペースがよくプレッシャーは凄かったです。スペシャルタイヤの頃はいい思いも苦しい思いもりましたが、こうしてイコールコンディションでも勝って素直に嬉しいです。午後も2連勝できるように頑張ります。」



OK Class

『第2戦：酒井がトップチェッカーもペナルティ。皆木が2連勝を飾る。』

第2戦のグリッドは第1戦レース中のファステストラップ順。ここでは酒井が皆木を上回り、PPを獲得し、皆木は2番手グリッドから連勝を狙う。スタートで高加速を見せたのは皆木。酒井の動きにうまく合わせると、1コーナーまでの加速で上回り、アウトからトップを奪っていく。酒井は2番手、3番手には三村がつけるが、その三村を五十嵐がかわし3番手を奪う。トップ争いの2台は、第1戦を彷彿とさせる接近戦のまま周回を重ねていく。第1戦同様に皆木が先行していくが、今度は酒井も仕掛け、時折トップを奪っては皆木が再逆転する展開が続く。終盤、24周目の1コーナーでついに酒井が完全に前に出ること成功すると、その後は皆木を抑え込もうと、要所でラインを変えていく。皆木も、攻略するべくインにアウトにとラインを変更。その中で、両者が接触する場面も見られた。レースは、酒井がトップを守りきりファーストチェッカー。車検場に戻ると歓喜の涙を見せたが、レース中の動きが過度なレーンチェンジとして取られペナルティとなり降格。皆木が繰り上がりながらの開幕2連勝を達成した。2位には五十嵐、3位には吉田馨(K.SPEED WIN)が入り、酒井は最終結果では10位となった。

優勝ドライバー：皆木 駿輔 (No.43 DragoCORSE)

「第1レースの結果から見て、酒井選手が速いのはわかっていました。相手のペースにするわけにはいかないの、いかに自分のペースでコントロールするかを考えていました。去年に比べても、カートの感触もいいので、この勢いでシリーズも頑張っていきたいです。」



Cadets Class

『第1戦：林樹生がGPR初優勝！』

カデットクラスの参加は、前年平均の約160%増しとなる27台。OKクラス同様にQPは2組に分かれて行われた。

A組でトップタイムをマークしたのは、昨年のジュニア選手権コースシリーズで、ジュニア選手権史上初の女性ドライバーチャンピオンとなった島津舞央(ERS with SACCESS)、2番手にもてぎ選手権開幕戦を制した阿部瑠緯(ミツサダPWG RACING)と続く。B組では2年目の参戦となる林樹生(AP SPEED with SOVLA)がトップタイム。同じく継続参戦の今村昂星(HIGUCHI RACINGTEAM)が2番手に並ぶ。総合では、林がトップタイムで今村、島津、阿部と続く。

第1戦決勝では林が好スタートを見せトップをキープ。2番手に新橋武(Sigma Racing)が上がるも、すぐに島津が逆転。島津はさらに林もかわし、4周目にはトップに浮上する。その後は島津と林が接近戦を展開していく。3番手新橋の後方には飯田一仁(TAKAGI PLANNING)が接近。さらに藤原迪永(SD-STYLE)も迫り、3番手グループが膨れ上がっていく。

終盤に入っても林と島津の接近戦は続くが、11周目に林がトップに戻ると、以降は島津の攻勢を抑えきりチェッカー。シリーズ初優勝を飾った。2位に島津、注目の3番手争いは、集団でのバトルを競りかかった藤原が3位表彰台を獲得した。

優勝ドライバー：林 樹生 (No.31 AP SPEED with SOVLA)

「TTのタイムからはもっとちぎれるかと思っていました。最後は狙っていました。午後も、同じように勝ちたいです。」

『第2戦：最後の大波乱で藤原迪永が優勝！』

第2戦のPPは藤原。2番手に2連勝を狙う林がつける。スタートでは藤原がトップをキープ、2番手には島津が浮上する。藤原、林、島津が1グループでトップグループを形成すると、そのまま周回を重ねていく。3台は幾度か順位を入れ替えるが、終盤に先頭に出たのは林。そのまま2連勝へ向けて突き進んでいく。その林を追ったのが、第1戦の雪辱を期す島津。藤原を振り切ると、林へと接近し、残り2周を切った時点でトップを奪う。最終ラップに先頭で入ったのは島津。林との間隔も少し開き、そのまま逃げ切るとかと思われたが、最後の勝負所となる奥のヘアピン進入で林が島津のインに飛び込む。しかし止まりきれなかったか、林と島津が接触。バランスを崩す間に先頭に出た藤原が、そのままチェッカーを受け優勝を飾った。2位に阿部、3位は糸川輝陽斗(チームエツフェガーラ)、島津は6位、ペナルティとなった林は11位となった。

優勝ドライバー：藤原 迪永 (No.37 SD-STYLE)

「すごく嬉しい。最後、前の二人がぶつかってしまって、二人はかわいそうだけど、僕は嬉しかったです。」



Junior Class

『第1戦: 関口瞬、開幕戦を僅差で制す!』

ジュニアクラスには継続参戦組、昨年のカデットクラスランキング上位からのステップアップ選手など12台が参加した。

QPでは、継続参戦の坂野太紘(KP BUZZ)がトップタイムをマーク。練習段階ではトラブル等もあったようだが、しっかりと本番に合わせてきた。2番手にはカデットチャンピオンの森谷永翔(ERS with SACCCESS)、3番手には昨年のJAFジュニア選手権ジュニア部門チャンピオンの中西凜音(Energy Japan)が続く。

第1戦決勝、まずは坂野がトップをキープし、2番手には澤田龍征(PONOS HIROTEX RACING)、関口瞬(K.SPEED WIN)と続いていく。4周目、早くも仕掛けた関口がトップに浮上。坂野も負けじとすぐに逆転し、序盤からトップ争いが激しく変動していく。そのトップ争いに加わってきたのが、中西だ。一次は5番手まで順位を落としていた中西が、10周過ぎには坂野の背後へと接近していき、ついにはトップへも立つ。しかし、それをさらに上回ったのが関口。最終ラップのヘアピンでトップを奪うと、後続を従えチェッカー。勝負強さを見せた関口が開幕戦を制した。

優勝ドライバー: 関口 瞬 (No.50 DragoCORSE)

「ペースは苦しかったです。途中、中西選手が抜いていったのでついていって最後は入るならそこしかないと思っていました。午後はバトルでも強さを見せて勝てるように頑張ります。」

『第2戦: 中西凜音、初コースで初優勝!』

第2戦は中西がPPからスタート。2番手には澤田が並ぶ。しかし、スタートで抜群のダッシュを見せたのは、中西の後ろ、3番手スタートだった関口。一気に中西もかわすとトップでオープニングラップを戻ってくる。

しかし、この日、最もペースの良かったのはやはり中西。4周目にトップに戻ると、2番手に上がってきた前田蒼介(Team REGOLITH)とともに集団を離れていく。一方、トップ争いでの不利もあり、関口は一時5番手まで順位を落とし追いつけを余儀なくされる。

中西は前田を従えたまま周回を重ねていく。前田に対しては、安全マージンをキープし、安定したペースでラップを刻んでいくと、そのまま逃げ切り優勝。ほぼ走行経験のない初コースを攻略し、初優勝を飾った。2位には前田が入り初表彰台、3位は澤田が入った。

優勝ドライバー: 中西 凜音 (No.20 Energy Japan)

「良かったです。抜ける自信はありました。もてぎでいい結果が出たので、今後も自信を持ってレースに臨めると思います。」



Shifter Class

『第1戦:鈴木悠太が逃げ切り優勝!』

シフタークラスには6台が参加。翌週に鈴鹿選手権Rokクラスの開催が控えていることもあってか参加台数が少なかったが、次回以降の参加を表明している選手も多く、瑞浪以降は台数増が期待される。

QPでは鈴木悠太(brioly racing)がトップタイムをマーク。しかも、ペナルティによりベストラップを抹消されながらのトップタイムと、今回OKクラスとダブルエントリーの鈴木が元気なところを見せる。2番手には、昨年に続き参戦してきたプロドライバーの松下信治(TONYKART RTJ)。今季はスケジュールの都合上今回だけの参加となる模様だが、さすがの速さを見せた。

第1戦決勝、スタンディングスタートを無難に決めた鈴木がトップをキープ。松下が2番手、富田星羅(KP BUZZ)が3番手につける。

ペースが良かったのはトップ2。鈴木がトップを快走、やや離れて松下が続き、更に離れて富田が続く展開となる。

終盤、鈴木に接近していった松下。バックストレートエンドの3コーナーやヘアピン進入のブレーキングで大きく差を詰めていくが、並びかけるまでには至らない。その松下のプレッシャーからか、鈴木も姿勢を崩すなどミスをするものの、大崩れることはなく踏ん張っていく。最後までプレッシャーに耐えた鈴木が、シフタークラス初優勝を飾り、松下が2位、富田が3位に入った。

優勝ドライバー:鈴木 悠太 (No.58 brioly racing)

「思ったりペースも良くなかったけど、抜かされる感じではなかったです。時折ミスもしてしまいましたが、スタートが課題なので午後はスタートを決めて連勝できるようにしたいです。」

『第2戦:松下がスタートから逃げ切り優勝!』

第2戦のPPは松下。鈴木は2番手につける。

スタートでは、やはり松下に一日の長があるのか、ホールショットは松下が獲得し、トップでレースを進めていく。2番手には鈴木がつけるが、序盤から松下が独走へと持ち込み、それぞれが単独走行となる。3番手富田には、第1戦ではトラブルによりスタートできなかった宮本颯斗(LUCE motorsports)が迫ってくる。

22周と周回数が多い第2戦。後半の体力も心配されるどころ。松下のリードは、一時は1秒を超えたが、中盤をすぎる頃には、鈴木がそのビハインドを削り、コンマ6秒差にまで接近してくる。それでも、最後は踏ん張った松下が、追撃を振り切り優勝。2位に鈴木、3位が最終ラップで宮本が逆転し表彰台を獲得した。

優勝ドライバー:松下 信治 (No.13 Tony Kart R.T.J)

「スタートで前に出て死ぬ気で逃げました。周回長すぎますね(笑)楽しかったです。もっとこのクラスが流行ってほしいなあ。」

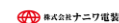


Point Standings - Cadets

Cadets					MOTEGI 4/21				MIZUNAMI 6/9				SUZUKA 7/14				GOTENBA 9/8				SUZUKA 10/13			
					Round 1		Round 2		Round 3		Round 4		Round 5		Round 6		Round 7		Round 8		Round 9		Round 10	
Pos.	Name	Team	有効	合計	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.		
1	藤原 迪永	SD-STYLE	45	45	3	20	1	25																
2	島津 舞央	ERS with SACCESS	37	37	2	22	6	15																
3	阿部 瑠綺	ミツサダ PWG RACING	36	36	7	14	2	22																
4	林 樹生	AP SPEED with SOVLA	35	35	1	25	11	10																
5	飯田 一仁	TAKAGI PLANNING	33	33	6	15	4	18																
6	新橋 武	Sigma Racing	32	32	4	18	7	14																
7	今村 昂星	HIGUCHI RACING TEAM	32	32	5	16	5	16																
8	桑川 輝陽斗	チームエフエガーラ	29	29	12	9	3	20																
9	西川 虎太郎	RT WORLD	24	24	9	12	9	12																
10	本田 羽	Ash	22	22	10	11	10	11																
11	森 一真	NEXT-ONE Racing	17	17	13	8	12	9																
12	久田 朱馬	ガレージC	13	13	8	13	DNF	0																
13	兼田 麗生	Super Racing Junkie!	13	13	15	0	8	13																
14	中井 星那	FORZA Racing Kart Service	10	10	11	10	DNF	0																
15	ユン イサック	LUCE MOTOR SPORTS	8	8	17	0	13	8																
16	豊岡 快	brily racing	0	0	14	0	23	0																
17	原澤 稜	RT WORLD	0	0	DNF	0	14	0																
18	本橋 瑞希	brily racing	0	0	DNF	0	15	0																
19	北村 紳	CRG JAPAN	0	0	16	0	17	0																
20	赤池 凜翔	GRG with HIGUCHI	0	0	18	0	16	0																
21	植月 宣成	brily racing	0	0	21	0	18	0																
22	今村 颯星	HIGUCHI RACING TEAM	0	0	19	0	20	0																
23	ユン ダニエル	LUCE MOTOR SPORTS	0	0	DQ	0	19	0																
24	石川 大翔	EHRE MOTOR SPORTS	0	0	20	0	22	0																
25	内田 丈一郎	RT WORLD	0	0	23	0	21	0																
26	田中 翔大	brily racing	0	0	22	0	DNF	0																
27	安藤 海翔	GOLD MOTORSPORTS	0	0	DQ	0	DQ	0																

Point Standings - Junior

Junior					MOTEGI 4/21				MIZUNAMI 6/9				SUZUKA 7/14				GOTENBA 9/8				SUZUKA 10/13			
					Round 1		Round 2		Round 3		Round 4		Round 5		Round 6		Round 7		Round 8		Round 9		Round 10	
Pos.	Name	Team	有効	合計	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.		
1	中西 凜音	Energy Japan	45	45	3	20	1	25																
2	澤田 龍征	PONOS HIROTEX RACING	42	42	2	22	3	20																
3	前田 蒼介	Team REGOLITH	38	38	5	16	2	22																
4	坂野 太紘	KP BUZZ	33	33	4	18	6	15																
5	関口 瞬	DragoCORSE	25	25	1	25	10	0																
6	有坂 瑠唯	brioly racing	18	18	9	0	4	18																
7	横山 輝翔	PONOS HIROTEX RACING	16	16	11	0	5	16																
8	森谷 永翔	ERS with SACCESS	15	15	6	15	9	0																
9	中野 貴介	LUCE MOTOR SPORTS	0	0	10	0	7	0																
10	松尾 柊磨	brioly racing	0	0	7	0	DNF	0																
11	須藤 虹富	brioly racing	0	0	8	0	8	0																
12	中里 豪太	AMEROID PAROLIN JAPAN	0	0	DNF	0	11	0																



Point Standings - OK

OK					MOTEGI 4/21				MIZUNAMI 6/9				SUZUKA 7/14				GOTENBA 9/8				SUZUKA 10/13			
Pos.	Name	Team	有効	合計	Round 1		Round 2		Round 3		Round 4		Round 5		Round 6		Round 7		Round 8		Round 9		Round 10	
					Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.
1	皆木 駿輔	DragoCORSE	50	50	1	25	1	25																
2	五十嵐 文太郎	DragoCORSE	40	40	4	18	2	22																
3	三村 壮太郎	AP SPEED with SOVLA	38	38	3	20	4	18																
4	酒井 龍太郎	ミツサグ PWG RACING	33	33	2	22	10	11																
5	吉田 馨	K.SPEED WIN	32	32	9	12	3	20																
6	春日 龍之介	YAMAHA MOTOR Formula Blue	28	28	5	16	9	12																
7	野澤 勇翔	bbR.チームエッフェガーラ	28	28	6	15	8	13																
8	酒井 涼	TEAM EMATY	25	25	10	11	7	14																
9	酒井 仁	Vitec Racing	23	23	7	14	12	9																
10	武藤 雅奈	YAMAHA MOTOR Formula Blue	16	16	DNF	0	5	16																
11	金子 修	TEAM WOLF	16	16	15	6	11	10																
12	鈴木 悠太	brioly racing	15	15	DNF	0	6	15																
13	岡澤 圭吾	Vitec Racing	13	13	8	13	DNF	0																
14	岸 風児	MOMOX KART RACING	13	13	14	7	15	6																
15	中井 陽斗	TEAM WOLF	10	10	11	10	DNF	0																
16	佐藤 佑月樹	YAMAHA MOTOR Formula Blue	9	9	12	9	16	0																
17	伊藤 聖七	YAMAHA MOTOR Formula Blue	8	8	13	8	19	0																
18	クインティン ルー	TEAM EMATY	8	8	17	0	13	8																
19	田崎 脩馬	Vitec Racing	7	7	28	0	14	7																
20	中井 悠斗	TEAM EMATY	0	0	16	0	DNF	0																
21	一宮 總太郎	MOMOX KART RACING	0	0	21	0	17	0																
22	菊池 貴博	K.SPEED WIN	0	0	19	0	18	0																
23	田中 照久	GLEATEQ Motorsports	0	0	18	0	24	0																
24	本間 詠吉	K.SPEED WIN	0	0	26	0	20	0																
25	土橋 皇太	ラムレーシング	0	0	20	0	21	0																
26	井上 隆太	ラムレーシング	0	0	23	0	22	0																
27	中里 龍昇	AMEROID PAROLIN JAPAN	0	0	22	0	DNF	0																
28	小野 大地	チームTKC	0	0	24	0	23	0																
29	綿谷 浩明	N・フォース SPS川口	0	0	DNF	0	25	0																
30	中野 駿太	GLEATEQ Motorsports GEN	0	0	25	0	26	0																
31	山岡 宗磨	DragoCORSE	0	0	27	0	DNF	0																



Point Standings - Shifter

Shifter					MOTEGI 4/21				MIZUNAMI 6/9				SUZUKA 7/14				GOTENBA 9/8				SUZUKA 10/13			
Pos.	Name	Team	有効	合計	Round 1		Round 2		Round 3		Round 4		Round 5		Round 6		Round 7		Round 8		Round 9		Round 10	
					Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.
1	鈴木 悠太	brlioly racing	47	47	1	25	2	22																
1	松下 信治	Tony Kart R.T.J.	47	47	2	22	1	25																
3	富田 星羅	KP BUZZ	20	20	3	20	4	0																
3	宮本 颯斗	LUCE MOTOR SPORTS	20	20	DNS	0	3	20																
5	佐藤 奨二	TOKAIDENSO-DSM	0	0	4	0	5	0																
6	小林 弘直	HRT	0	0	5	0	DNF	0																

Point Standings - TEAM

Cadets		
Pos.	Team	合計
1	SD-STYLE	45
2	ERS with SACCESS	37
3	ミツサダ PWG RACING	36
4	AP SPEED with SOVLA	35
5	TAKAGI PLANNING	33
6	Sigma Racing	32
7	HIGUCHI RACING TEAM	32
8	チームエフエカーラ	29
9	RT WORLD	24
10	Ash	22
11	NEXT-ONE Racing	17
12	ガレーンC	13
13	Super Racing Junkie!	13
14	FORZA Racing Kart Service	10
15	LUCE MOTOR SPORTS	8
16	brlioly racing	0
17	CRG JAPAN	0
18	GRG with HIGUCHI	0
19	EHRE MOTOR SPORTS	0
20	GOLD MOTORSPORTS	0

Junior		
Pos.	Team	合計
1	Energy Japan	45
2	PONOS HIROTEX RACING	42
3	Team REGOLITH	38
4	KP BUZZ	33
5	DragoCORSE	25
6	brlioly racing	18
7	ERS with SACCESS	15
8	LUCE MOTOR SPORTS	0
9	AMEROID PAROLIN JAPAN	0

Shifter		
Pos.	Team	合計
1	brlioly racing	47
2	Tony Kart R.T.J.	47
3	KP BUZZ	20
3	LUCE MOTOR SPORTS	20
5	TOKAIDENSO-DSM	0
6	HRT	0

OK		
Pos.	Team	合計
1	DragoCORSE	50
2	AP SPEED with SOVLA	38
3	ミツサダ PWG RACING	33
4	YAMAHA MOTOR Formula Blue	32
5	K.SPEED WIN	32
6	bbR,チームエフエカーラ	28
7	TEAM EMATY	25
8	Vitec Racing	23
9	TEAM WOLF	20
10	brlioly racing	15
11	MOMOX KART RACING	13
12	GLEATEQ Motorsports	0
13	ラムレーシング	0
14	AMEROID PAROLIN JAPAN	0
15	チームTKC	0
16	GLEATEQ Motorsports GEN	0
17	N-フォース SPSIII口	0

NEXT ROUND

»»» MIZUNAMI - Jun 9th

MORE DETAIL



<https://www.gpr-race.com/>

